



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成 23 年 4 月 21 日

環境大臣 松本 龍 殿

株式会社スーパーホテル
会長 山本 梁 介

株式会社スーパーホテルは、出張目的のビジネスパーソンを中心とした、宿泊特化型のビジネスホテル運営企業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、『21 世紀の地球環境保全の為に、環境を大切にする企業を目指す』との環境理念に基づき、低炭素で持続可能な社会を次世代に継承していくために、2014 年度までにホテルの CO2 総排出量を 30%削減(2009 年度比)、2020 年度までに 40%の CO2 削減を目標にします。達成するために以下の取り組みを実施します。

1. 事業活動におけるCO2 排出量を削減します。

- ・ LED照明・省エネエアコン・ペア樹脂サッシ・太陽光発電等の導入による店舗の省エネ設計の推進や、サーバーの一元化といったグリーンITの導入により、消費電力の削減に取組みます。
- ・ 節水型シャワーヘッド、節水コマの導入や雨水、湧水の再利用等により水の使用量の削減に取組みます。
- ・ エアコンの設定温度の表示や、清掃時の客室照明の消灯といった ISO14001 の運用に伴う環境負荷低減活動に取組みます。
- ・ 自社ホームページにおいて販売しているカーボン・オフセット付きの宿泊プラン(通称「エコ泊」)について、現在の 1 泊当たり CO2 排出量(6.3 kg)の 25%オフセットを、2014 年度までに 100%オフセットに引き上げることで、エコ出張、エコ旅行を推進します。
- ・ 『エコひいき』と称する連泊されるお客様を対象とした、客室の清掃を行わない活動を一層推進し、2014 年度末までにその割合目標を 40%を目標にし、省資源化に努めます。(2009 年度実績 15 万人を 2012 年度に 23 万人 2014 年度に 32 万人目標)

2. 循環型社会の構築や生物多様性の推進に協力します。

- ・ 朝食に各地域の環境配慮農産物(有機農業、特別栽培などで作られた野菜、米)を導入します。(2012 年度までに全店導入)
- ・ 朝食残渣の堆肥化や資源の再利用など 3R(注1)に取引先と協力し取組みます。(2012 年度までに 10 店舗 2014 年度までに全店導入)
- ・ 新店・改装店の共用部や客室備品に国産材を積極的に使用します。(2014 年度までの改装予定 10 店舗)
- ・ ホテル敷地内の植栽には地域在来の樹木を植えたり、屋上緑化・壁面緑化など、生物多様性に配慮します。
(2014 年度までのオープン予定 10 店舗)

3. 社員の環境意識の向上に努め、社会貢献活動を推進します。

- ・ 社員の環境教育を始め、宿泊されるお客様や取引会社との対話、環境イベント等への出展、「100 万人のエコ泊キャンペーン」の実施等を通じ、エコ出張やエコ旅行に関する普及啓発に努めます。
- ・ エコ泊のカーボン・オフセットの信頼性を確保するため、カーボン・オフセット認証(注2)を毎年取得します。
- ・ チャレンジ 25 キャンペーンの活動をホテル客室内に告知して、家庭や会社でできる環境負荷低減活動を啓発します。
- ・ お客様一人一人にホテルフロントにて対面で『エコ泊』『エコひいき』の案内を積極的に実施して、啓発活動を推進します。

(注1)3R:リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化)

(注2)カーボン・オフセット認証:平成 21 年 4 月に設立された制度で、環境省が策定した認証基準に基づき、第三者認証機関(気候変動対策認証センター)から認証されたもの。

株式会社スーパーホテルは、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について環境報告書等を通じて定期的に公表するとともに、環境省へ報告いたします。

スーパーホテル